

ティーチング・ポートフォリオ

大学名 東京都市大学  
所 属 外国語共通教育センター  
名 前 三幣友行  
作成日 2021年8月3日

## 1. 責務

共通教育部外国語共通教育センターに所属し、これまでに外国語必修科目 (Communication Skills および Reading and Writing)、外国語選択科目(Language Sciences(1)、Grammar(1)、科学技術英語 など)を担当している。また、他の外国語専任教員とともに入試問題 (英語) の作成を行っており、ハラスメント相談室員およびサッカー部顧問を担当している。

## 2. 理念

理念は以下の 5 点である。

1. 英語などの外国語は才能ではなく積み重ねによって修得できることを知ってもらいたい。(方針 A)  
これまで英語の授業を担当してきて、自分は英語の才能がないと思込んでいる学生が多いように思われる。日々の積み重ねによって着実に力がつくということを伝えていきたい。
2. 自分は英語ができないという思込みをなくしてもらいたい。(方針 B)  
これまでは基礎クラス、初級クラスを中心に担当してきたが、自分は英語ができないと感じている学生が一定数存在するように思われる。授業では少しでも自分の力で答えさせ、小さな成功体験を積み重ねることによって自信をつけられるような授業をやりたい。
3. 興味をもって学習してもらいたい。(方針 C)  
英語ができるようになれば同じことを伝える場合にも複数の表現があるということ、それらの表現によって相手に伝わるニュアンスなどが異なる、自分の言いたいことを表現するには一つの方法しかないわけではない、ということを伝えていきたい。
4. 学生から信頼される教員でありたい。(方針 D)  
信頼できない教員の話す言葉には説得力がない。より良い人間関係を築いていくために基本的なルールを守る、相手のことを尊重するなどこれから生きていくために大切なことを自らが示し、信頼される教員でありたい。
5. 卒業後の人生においても学び続けることが大事だということを伝えたい。(方針 E)  
卒業して学生でなくなったとしても学びをやめていいわけではない。学び続けることによって視野が広がり、柔軟性がでてくるので、これから何があっても臨機応変に対応できるような人間になってもらいたい。

## 3. 方法

上記の理念を実現するために、以下の A~E の方法 (方針) を守りたいと考えている。

[方針 A] : 「前回学んだことを定着させる」

方法 1 : 毎回授業の初めに前回の復習としての小テストを行う。

方法 2 : 上記の小テストで出題されたものとは別の内容について学生を指名し、前回学んだ事項の質問をして理解度を確認する。この際、「正しい答えが言えなくてもそれによって減点することはないので、間違えることを恐れずに自分の答えを述べる」よう伝える。

[方針 B]:「できるだけ学生に自分の言葉で答えさせ、自分は英語ができないという思い込みをなくし、少しでも成功体験をさせる」

方法1: 学生がうまく答えられない際は、ヒントを与えるなどえられない時をして少しだけだとしてもできるだけ自分で回答させる

方法2: 「間違った回答をしたとしてもよかった点についても言及する」

[方針 C]: 「学生が何を理解していて何を理解していないかを理解して、よりわかりやすい授業とする」

方法1: 授業準備の段階では学生が疑問に思いそうなところを特に掘り下げて予習をする

方法2: 説明を行った際には区切りごとに理解度の確認をする。この際にも、「正しい答えが言えないでも減点はしないので、恐れず回答する」よう伝える。

[方針 D]: 「基本的なルールを守ることが大事だということを示す」

方法1: 授業の開始時間を厳守する

方法2: 試験や課題の提出期限などの重要なことは繰り返し伝える

[方針 E]: 「これからもずっと学び続けることが大事だということを伝え続ける」

方法1: 授業で学んだことは単位をとるために必要なだけでなく、これからの人生において考え方や行動において視野を広げることや、柔軟性が出てくることを随時伝えていく

#### 4. 成果

授業アンケートにおいては、「毎回の小テストが復習に役立った」(理念1)、「間違った回答をしても否定されたり減点されたりしないので、安心して質問に答えることができた」(理念2)、「授業での説明がわかりやすかった」(理念3)、「zoomでの画面共有を利用した説明がわかりやすかった」(理念3)、「言語学に興味を持てるようになった」(理念3)、というコメントをもらうことができた。

#### 5. 目標

- ・ 学びは勉強や学問だけでなく、これから一生続けるものだということを伝え始める (2021年度中)
- ・ 本来学ぶことは苦しいことではなく成長するために必要なことであり、楽しんでもいいことだということを伝え始める (2021年度中)
- ・ 学内のFD関連の研修への参加を継続する

#### 6. エビデンスとなる資料

- ・ シラバス
- ・ 学生による授業アンケート